

2006. 白馬五竜

スキー場のイベント

結婚式事業を展開

夏場の収益源作り狙う

【長野】白馬五竜スキー場を運営するエンレイ（長野県白馬村、駒谷嘉宏社長）は二〇〇六年夏から結婚式事業を本格展開する。結婚式企画のハートリンク（同、松本洋子代表）と提携して、気球や花畑を使った結婚式を提案する。冬のスキーシーズン以外の収入を増やす。

白馬五竜スキー場はこれまで、依頼があった時に結婚式を行うことがあった。ただ「経営基盤の安定を図るには夏の収入を増やすことが不可欠」（駒谷社長）として、結婚式を事業として展開することを決めた。

実際の企画は白馬村など県内での結婚式企画で実績のあるハートリンクが担当。司会者やウエディングプランナーなどが結婚するカップルの希望を聞きながらプランを実現する。

「熱気球ウエディング」はスキー場のおみげレンドで行う。ロープで地上に固定されるタイプの高さ約三十メートルの高さまで上がる。気球の上からブーケトスや菓子まきを行える。新郎新婦のお色直しの時間には列席者も気球に乗れる。挙式のみ料金は熱気球三時間で二十六万六千円。

「天空の花園ウエディング」は、白馬村の夏のイベント『白馬AIPS花三昧』のメイン会場となる標高約千五百メートル「アルプス平」の山野草園内で行う。新郎新婦や列席者はゴンドラリフトに乗り山の上まで向かう。

白馬五竜スキー場はブランドデザイナーの桂由美さんが提唱する「恋人の聖地」の第一号にも認定されている。男女の出会いのきっかけの場を作って少子化に歯止めをかける狙いで、恋人証明書を発行する。